

高 き を 求 め

勉強に打ち込み未来を開く

創立以来、伊那北高校は、地域の人々の期待にこたえ、地域と日本の明日をひらくことのできる力をそなえた人材の育成をめざし、校歌にもあるように「高きを求め」て勉強に打ち込むことを大切にしてきました。

こうして本校は90有余年の道のりをあゆみ、地元をはじめ、内外で活躍する卒業生の数は男女あわせて2万人を超えました。



ペンは剣より強し

The pen is mightier than the sword.

校章と本校の伝統

本校は大正9年、旧制の県立伊那中学校として開校され、昭和23年、長野県伊那北高等学校となりました。学園のある高台は、「薫ヶ丘」と愛称されています。

人類史上初の総力戦となり、多大な犠牲者を出した第一次世界大戦。その反省に立ち、国際連盟が組織されて世界的に軍縮・平和が議論されつつあったまさにその時、剣を図案化するという意見に対して、「ペンが剣より強し」の理想を掲げて、2本のペンをクロスさせた校章に決定したといわれています。

たぐえて行かんわが友よ!

みんなでつくるキャンパスライフ

多彩な行事

4月 入学式・対面式
春期クラスマッチ

6月 ペン祭

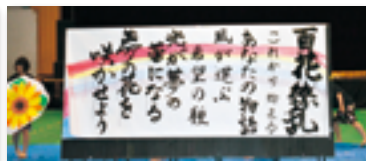
9月 秋期クラスマッチ
中学生体験入学
合唱コンクール

10月 強歩大会

11月 研修旅行(2年)

1月 理数科課題研究発表会
(理数科2年)

3月 卒業式



部活に熱中

平成26年度は、フェンシング部・陸上部が全国高校総体等へ、写真部・将棋部・音楽(合唱班)が全国高校総合文化祭へ出場を果たしました。フェンシング部はジュニアオリンピック、ワールドカップ等に出場するなど世界で活躍しています。また、ラグビー部・英語部も全国大会で活躍しています。その他、多くの部が北信越大会・県大会に出場しています。

運動部

- 野球
- 男子バレー
- 男子バスケット
- 柔道
- 女子バレー
- 女子バスケット
- フェンシング
- 卓球
- 男子テニス
- 陸上
- サッカー
- 女子テニス
- 弓道
- ラグビー
- ソフトテニス
- 剣道
- バドミントン
- 水泳



バレーボール



サッカー

学芸部

- 将棋
- 生物
- 家庭科
- 囲碁
- 化学
- 歴史研究
- 美術
- 物理
- イベント
- 文芸
- 軽音楽
- プランニング
- 写真
- 吹奏楽
- ダンス
- 天文気象
- 音楽(合唱班)
- 漫画研究
- 演劇
- 音楽(弦楽班)
- 園芸同好会
- 英語
- 書道
- 映画同好会



バスケットボール



将棋



吹奏楽

★この学校案内には写真部のみなさんの作品が7点掲載されています。

普通科

4年制大学をはじめとする幅広い進路が実現できるカリキュラムです。教科学習はもちろんのこと、人間としての力を蓄えられるようなキャリア教育も充実しています。1年次は学習習慣を確立して社会常識を身につけ、2年次から文系・理系別の授業を取り入れて将来の進路を具体化します。3年次には各自の進路希望に合った科目の履修ができるようになっています。また、2年次には、クラス替えを行い、交友関係が広がっています。



授業風景



理数科

「自ら考え・自ら実験し・自ら創造し得る本物の力」を掲げ、基礎学力の充実をはかるとともに、実験・観察や演習などを通し、より広く深く自然科学や数学を学びます。大学の理学部、工学部、医学部、薬学部、農学部などで学び、この方面で活躍したいと考えている生徒が多く学んでいます。大学と連携して、より高度な内容を学習する取り組みも積極的に行っています。



生徒主体でおこなわれる課題研究発表会

豊かな理数科ライフ

理数科の特色のひとつは「課題研究」です。2年生になるとひとつのテーマを決めて、それに1年間じっくりと取り組み、自ら探究する態度を身につけます。研究テーマは理数に関するものなら何でもOKです。研究は毎年一冊の報告書にします。

昨年のテーマは、「放射線照射による工業製品への影響」「岩石はいかにして柔らかくなるのか～長谷鷹岩の蛇紋岩を通して～」「BZ反応における同心円の発生について」「伊那谷のミミズと細菌の関係」「プラナリアの再生に対する身近な薬品の影響」「特定波長の抽出」「上伊那地域のテントウムシ～分子レベルで近縁関係を探る～」「二人零和有限確定完全情報ゲームの必勝法」「分光法による成分分析」でした。毎年ユニークな発表があり、新聞にも取り上げられています。

1～3年次にわたり、クラス単位で勉強する機会が多く、多くの先輩達が「仲間と希望する進路が同じで、いい刺激になった」と言っており、切磋琢磨し合える環境にあります。また、研修旅行などの学校行事は普通科と一緒にこなされています。

進路を強力にサポート ～学力こそ伊那北の底力～

「ようこそ教授」「こんにちは先輩」「総合ゼミ」など豊富な講演会や体験活動を通じて生徒の大学進学等の進路実現を強力にサポートする指導体制と進路実績は高く評価され、「伊那北スタイル」として全国でも注目を集めています。また、65分授業を取り入れ、授業の中身をより濃くしています。日々の授業だけでなく、充実した補習や



自習室（高志館）

模試、自学自習の道場となる自習室、土曜日を活用する「クロスアカデミー」など生徒自らが「気づき、考え、行動する」場面を設け、生きる力を高める指導を行なっています。

本校卒業生が、司法、中央・地方の行政、自然科学や人文科学等の各学問研究、諸産業界、医療・福祉や教育・文化等の様々な分野の一線で活躍しています。



進路講演会

過去3年間の本校卒業生の主な合格大学と人数

● 東京大学 2人	● 金沢大学 10人	● 中央大学 35人
● 京都大学 4人	● 山梨大学 19人	● 東京理科大学 15人
● 北海道大学 2人	● 静岡大学 8人	● 法政大学 39人
● 東北大学 11人	● 神戸大学 3人	● 明治大学 32人
● 名古屋大学 22人	● 首都大学東京 7人	● 立教大学 18人
● 大阪大学 3人	● 名古屋市立大学 9人	● 立命館大学 51人
● 一橋大学 1人	● 長野県看護大学 18人	● 同志社大学 21人
● 筑波大学 10人	● 早稲田大学 32人	
● 横浜国立大学 8人	● 慶応義塾大学 14人	● 国公立大学合格者延べ数 393人
● 千葉大学 17人	● 国際基督教大学 2人	● 国公立大学医学部医学科合格者延べ数 17人
● 信州大学 85人	● 上智大学 4人	● 私立大学合格者延べ数 1038人



普通科と理数科について

Q1 どちらの科が大学進学に有利ですか？

A 一概にどちらとはいえません。

大切なことは自分が将来どのような進路を目指し、どのような力を高めたいと考えているかということです。現時点で理系(理学・工学・医学など)への進学希望を固めている人は、理数科で「課題研究」等の学習を通して科学的な探究力を高めることが将来大きな力になるといえますが、どちらの科のほうが直接進学に有利ということはありません。

Q2 学校生活を送る上で、科による違いはありますか？

A 授業の科目(教育課程)以外の違いはありません。

日課(授業時間など)は同じで、クラブや生徒会、クラスマッチや研修旅行などの行事も、科の区別なく、一体となって行われています。



2B 大槻 裕「遊ぼう」



3A 有賀千佳「情熱と儚さ」

入試等について

Q1 入試の方法はどうなっていますか？

A 前期選抜は自己推薦入試になっており、理数科において実施します。提出書類、作文、面接により選考します。募集人員は定員の90%です。

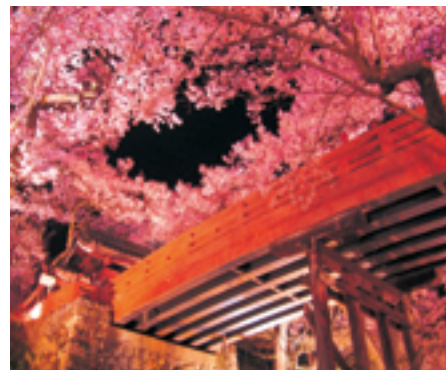
後期選抜は、提出書類と筆記試験により選考します。理数科については、数学と理科が1.5倍の傾斜配点となります。

Q2 普通科を第2志望にすることはできますか？

A 後期選抜では可能です。理数科を第1志望、普通科を第2志望とすることができます。その逆も可能です。

Q3 入学後、転科はできますか？

A 履修する授業科目(教育課程)の違いにより転科はできませんので、十分考えて志願してください。



3D 北原佑奈「夜桜」

その他

Q1 土曜日に学校として何か工夫していることはありますか？

A 本校は午前3時間の土曜日授業を年16回実施しています。その他にも、「クロスペンアカデミー」という組織があり、年2回の講演会、模擬試験の実施、自習室の開放、希望者に対する補習授業の実施など、生徒の学力向上のための手だてを講じています。

Q2 教科の学習とクラブ活動は両立できますか？

A 自由な雰囲気の中で学習と特別活動を通し豊かな人間性を養うことを教育目標としていますので、両立できることを目指し、多くの生徒がクラブ活動に参加しています。

本校では教科学習や進路指導等で生徒のみなさんを手厚くサポートしていますが、生徒会やクラブなどの特別活動も重要だと考えて、放課後を中心に活動を保障しています。

Q3 65分授業だと聞きましたが、本当ですか？

A 本校では、一般的な授業より15分長い65分授業を実施しています。この15分は、各教科でより質の高い充実した授業を目指し、有効に使われています。1日5時間限なので、より集中した予習・復習を行うことができます。また、1年間を前期と後期に分け、2期制としています。



3E 笹岡望美「じーっと。」

表紙写真 上：3D 北原佑奈「夏の小道」
下：3E 堀口妙子「秋桜」



2015 CAMPUS GUIDE
長野県伊那北高等学校

〒396-8558 長野県伊那市山寺2165
TEL.0265-72-2221(代表)
FAX.0265-76-8969
<http://www.nagano-c.ed.jp/ina/>